

コシヒカリは草丈並、葉色は低下しています

～全量基肥栽培では、追加穂肥の準備をしましょう～
～分施栽培では、1回目穂肥を確実に施用しましょう～

- 出穂期は、平年より2日程度早まる見込みです。
- 前回調査から葉色が低下し、指標値より淡くなりました。
- 幼穂を確認して、適期に穂肥を施用しましょう。

1 コシヒカリ生育概況(7月8日調査)【稲姿】草丈:並、茎数:多

草丈…	63	cm	(指標比	103	%、	並	)	
茎数…	516	本/m ²	(同上	119	%、	多い	)	
葉色…	33.7	(葉緑素計)	(指標差	－	3.2	、	淡い	)
葉数…	11.1	葉	(同上	+	0.6	葉、	やや早い	)

○茎数は多めで、生育はやや進んでいます。

○葉色が淡くなったので、飽水管理を徹底しましょう。

2 気象予報(新潟地方気象台・7月9日発表)

- 期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 気温：高い見込み、降水量：平年並か少ない見込み、日照時間：平年並か多い見込み

3 当面の対策

(1) 出穂期予想 出穂期は、平年より2日程度早まる見込みです。

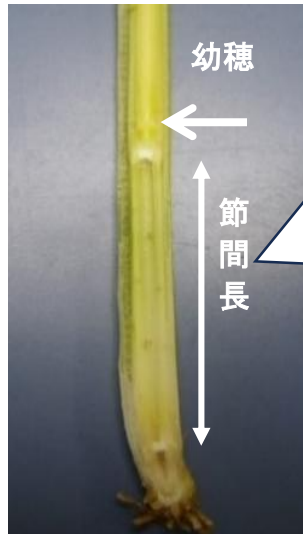
表 穂肥時期の目安

品種名	予想出穂期	出穂期の適切な葉色値(SPAP値)	穂肥時期	
			1回目	2回目
なつひめ	7/15	39～41	6/20～6/22	7/1
ゆきん子舞	7/21	36～38	6/26～6/28	7/7
つきあかり	7/21	40～42	6/26～6/28	7/7
こしいぶき	7/24	34	7/1	7/10
コシヒカリ	8/2	32～34	7/15～7/18	7/23
新之助	8/10	34～36	7/20～7/23	7/29～7/31
わたぼうし	7/21	-	6/29～7/1	7/9～7/11
こがねもち	7/28	-	7/10～7/13	7/18

コシヒカリ
1回目の穂肥時期の幼穂(1cm)



SPADを使用しない判断方法



幼穂が1mmの時期に下位の節間長を測定し、3.5cm以下であれば基準量を施用できます。

(2) コシヒカリの穂肥対応

ア 全量基肥(一発肥料)施肥の場合

- 異常高温が続き、出穂期の適切な葉色値(SPAD値で32~34)を下回ると予想される場合は、追加穂肥を行いましょう。
- 追加穂肥は、出穂3日前までに実施しましょう。

イ 分施肥系の場合

- 穂肥は生育診断を行い、「表 穂肥時期の目安」を参考に確実に施用しましょう。
- 葉色が淡いので、1回目と2回目の穂肥を確実に施用しましょう。

※詳細はHP「高温気象による後期栄養対策」をご覧ください。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/shibata-nogyo/suitougizyutukeiei-ijyoukisyousu.html>

(3) 水管理

- ほ場は乾かし過ぎず、飽水管理を徹底しましょう。

(4) 病虫害対策

ア いもち病の発生を確認

- 県内では、こしいぶきで、いもち病の発生が確認されています。
- ほ場をよく確認し、早期発見・早期防除に努めましょう。

イ 紋枯病の予防

- 前年、紋枯病が多発したほ場では、予防粒剤を散布しましょう。

ウ 斑点米カメムシ類に注意

- 高温が続いています。カメムシ類にとって活動が盛んになる時期を迎えます。
- 早生品種の出穂前までに農道畦畔の草刈りを徹底しましょう。



HPへの2次元バーコード

農作業時には、こまめな水分・塩分補給や適切な休憩を心掛け、熱中症の予防に努めましょう。

【次回は7月21日に水稻生育速報No. 6を発行予定】